

《 目 次 》

●トピックス

- ・只見町の目黒広信・美樹夫妻が受賞！～第63回福島県農業賞～
- ・農林水産業振興計画に係る意見交換会を実施しました
- ・林業アカデミー研修生のインターンシップを実施しました
- ・第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・会津桐の育て方の勉強会を実施しました
- ・伊南小学校で生き物調査を実施しました
- ・現場見学会を開催しました
- ・「南会津町横町区」が国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました
- ・南会津地方農業相談会が行われました
- ・中山間地域総合整備事業「下郷地区」農業防災情報無線工事が竣工しました
- ・令和4年度あいつ「まるごと」ネット第1回交流会を開催しました
- ・「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業に係る南会津地方フラワーネットワーク現地検討会が行われました
- ・環境アドバイザーによる新規採択希望地区の現地調査を実施しました
- ・只見線が全線運転再開しました

●農林事務所からのお知らせ

- ・令和5年度「林業アカデミーふくしま」就業前長期研修の研修生を募集中
- ・「アグリカレッジ福島」令和5年度学生募集
- ・令和4年秋の農作業安全運動実施中！
- ・肥料高騰対策事業のお知らせ
- ・第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催します
- ・農林水産部チャンネル「1400のネタばらし」配信中
- ・令和4年度食品表示法研修会を開催します

今号の写真:屏風岩と紅葉

令和4年10月14日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

只見町が目黒広信・美樹夫妻が受賞！～第63回福島県農業賞～

第63回福島県農業賞表彰式が9月2日(金)に福島市の杉妻会館で開催され、只見町塩ノ岐の目黒広信・美樹夫妻が農業経営改善部門で受賞されました。

目黒夫妻は御両親と「りんどう」を中心とした露地花き栽培と自家生産したモチ米から栃餅などの製造を行っています。今回の受賞では県内でも有数の栽培規模であり、早生から晩生の複数品種と標高差を組み合わせることで長期にわたって「りんどう」を安定出荷している実績が高く評価されました。

広信氏は南会津花き園芸組合長をつとめられており、他の花き2部会と共に後継者確保へ大きなはずみとなる就農希望者の研修機関認定を目指して協議を重ねるなど、花き産地の維持・発展に尽力されています。今後も産地を牽引するトップランナーとしての活躍が期待されます。(農業振興普及部)



内堀知事と目黒夫妻

農林水産業振興計画に係る意見交換会を実施しました

今年度から開始した福島県農林水産業振興計画を周知するとともに、南会津地方の課題等を把握して、次年度以降の施策に反映させるため、8月29日(月)に意見交換会を開催しました。

当日は南会津地方の農林業などに携わる6名の方から本計画への意見、県への要望、日頃の課題となっていること等、様々な意見が出されました。

いただいた意見をもとに、本計画の基本目標である「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」に向けて、また南会津地方のスローガンである「活力ある農林業と人の交流が織りなす、輝く南会津」の実現に向けて、各種施策を進めてまいります。(企画部)



意見交換会の様子

林業アカデミー研修生のインターンシップを実施しました

令和4年4月に開講した林業アカデミーふくしまでは、今年の春に高校を卒業した10代から社会人を経験した50代までの14名の第1期生が、チェーンソー等の取扱や伐採現場での車両系の木材伐出機械を使った特別講習を受講するなど、様々な専門的技術の習得に励んでいます。

1年間林業を学んだ後は、県内の林業事業者等へ円滑に就業できるよう、年3回のインターンシップ活動を通して、企業と研修生のマッチングを図ることにしています。

夏には、アカデミーの県担当者と当所職員が、南会津町の林業事業者での就業体験の受入に必要な事前確認を行った後、就業を希望する研修生1名が7月27日からの3日間、伐採現場で作業をしました。10月と1月頃にもインターンシップ活動を行いながら、当地域への新規林業就業者の確保に努めてまいります。

(森林林業部)



研修生が体験を行った伐採現場

第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

8月20日(土)及び21日(日)に今年度2回目の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを、道の駅山口温泉きらら289で開催しました。今回は地域団体商標に登録されている「南郷トマト」をPRしました。

南郷トマトは、南会津地域の冷涼な気候と昼夜の温暖差によって、酸味と糖度のバランスがとれ、しっかりとした食感が魅力のトマトです。

キャンペーンでは、道の駅山口温泉きらら289でお買い物された方に南郷トマトを1袋プレゼントし、会場は大いに盛り上がりました。当日の様子については、農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」にもアップロードしていますので、併せてご覧ください。

(企画部)



南郷トマトとふくしまイレブン(トマト)

会津桐の育て方の勉強会を実施しました

7月12日(火)、下郷町大内宿において、会津里山森林資源育成研究会、大内区長、当所林業課職員等に加え、桐玉植苗^{ぼうが}の育苗を行っている会津農林高校森林環境科の生徒の皆さんと、昨年植栽した桐を仕立てるための萌芽管理作業を行いました。今回は、研究会の方から作業方法の説明を受けて、生徒が学んだ内容を紹介します。

桐の植栽適地は、水はけが良く、肥沃で日当たりの良い、風の影響が少ない土地です。

桐を植栽した後は、晩秋～初冬に地上部を切ること(台切り)で雪害や獣害に遭いにくくなります。翌春に切り株から複数の芽がでたら成長の良い芽を残して、その他の芽を摘み取ります(萌芽管理)。その後は、根元回りの除草を徹底しながら、幹と葉の付け根から出る脇芽を芽掻きしていきます。

里山の保全や野生鳥獣対策の一環として、定期的に草刈りを行う場所に桐を植えてみてはいかがでしょうか。興味のある方は森林林業部林業課0241-62-5375までお問合せください。

(森林林業部)



萌芽管理作業の様子

伊南小学校で生きもの調査を実施しました

7月1日（金）に南会津町立伊南小学校で、小学5・6年生12人を対象とした生きもの調査を実施しました。

まず始めに、6月に田植えを行った田んぼで、カラースケールを用いた稲の生育状況の確認や、田車を押して草取り体験を行いました。田んぼに入っただけの作業になりましたが、みんな上手に田車を押していました。

生きもの調査では、田んぼ近くの水路で網を駆使しながら楽しくカエルやドジョウなどを捕まえ、捕まえた生きものの特徴などをアクアマリンふくしまの講師にお話ししていただきながら、観察を行いました。

なお、当日の様子は農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」にもアップロードしていますので、併せてぜひご覧ください！（農村整備部）



田車を押している様子



網を使って捕獲している様子

現場見学会を開催しました

8月20日（土）に、県内在住の小・中学生の親子を対象とした農業農村整備事業の工事現場見学会を、南会津町で開催しました。

この見学会は、「ふくしまの農村学びの場」事業の一環で行われ、水路・農道・堰といった土地改良施設やほ場整備が、農業生産などに果たしている様々な機能や役割について、理解することを目的として実施しました。

当日は、田部地区のほ場整備事業地区内のアスパラガスのハウスや、宮床地区の中山間地域総合整備事業が行われている農道工事現場、大橋地区の災害復旧事業が行われた取水堰を見学しました。また、山星建設株式会社ご協力のもと、現場管理には欠かせない「レベル」と呼ばれる測量機器をのぞいてみたり、工事で実際に使われているバックホウやローダーの乗車体験を行いました。普段は近くで見ることのできない機械ばかりなので、子供たちは興味津々の様子でした。（農村整備部）



バックホウ体験の様子



田部地区(ドローン撮影)

「南会津町横町区」が国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました

公益社団法人国土緑化推進機構では、ふれあいの森林づくりにより、緑化の推進に顕著な実績をあげた市町村・団体等に対して表彰を実施しています。令和4年度は都道府県等からの推薦を受けた団体等の中から南会津町横町区が国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

横町区は、南会津町田島の弁天山を地区のシンボルや観光資源にしようと、平成17年から住民が一丸となって手つかずの里山をきれいにし、花木の植栽、ウォーキングコースや見晴台の整備等を行っています。地元小学校の自然環境学習のフィールドに加えて、南会津町や会津鉄道主催のイベント、県外の高校のレクリエーションなど、農山村と都市との交流の場としても活用され、これら多岐にわたる活動が高く評価されました。今後も緑化の推進に貢献する活動が期待されます。（森林林業部）



弁天山を整備した横町区の皆さん

南会津地方農業相談会が行われました

9月3日（土）と9月10日（土）に南会津地方農業相談会が行われました。

この取組は、新規就農者の確保を目的として今年度から行われており、南会津地方においては、就農や移住に関心のある方を対象に生産現場での現地相談会として開催されました。

9月3日は、南会津町古町の阿久津研二さんのトマト生産ほ場を会場に、県内外から8名の相談者が参加しました。

9月10日は、南会津町水無の花き生産法人室井農園と南会津町田部のアスパラガス農家湯田清記さんの生産ほ場を会場に、19名の相談者が参加しました。

相談先の生産者からは、作物の生産状況や栽培の中で注意しているポイント、就農に当たってのアドバイスなどの話があり、相談者は熱心に話を聞いていました。

今後も、取組を進め、南会津地方の新たな担い手の確保に努めてまいります。
(農業振興普及部)



現地相談会の様子

中山間地域総合整備事業「下郷地区」農業防災情報無線工事が竣工しました

中山間地域総合整備事業「下郷地区」では、町全域を対象に平成30年度に事業の採択を受け、農業生産を支える水路整備や農村集落の生活を改善する営農飲雑用水（水道施設）の整備、地域の防災機能向上を図る農業防災情報無線の整備を進めています。

このうち、令和元年度から行ってきた農業防災情報無線工事が、6月に竣工しました。本工事でアナログ無線システムからデジタル無線システムへ移行したことにより、通信が多様化されシステムの維持管理が向上しました。また、下郷町内の4箇所に気象観測局を設け、温度や湿度、雨量計測が可能となり、災害時には迅速に情報収集を行うことができるようになります。

また、下郷町の山間部ではラジオや携帯電話の電波が届きにくく、防災無線が重要な情報伝達手段となっているため、新たなデジタル無線システムにより霜情報や台風等の災害情報、農作業情報等を住民へ迅速に発信されるようになります。

これからも各種災害に備え、防災機能の向上に努めてまいります。

(農村整備部)



屋外拡声子局(下郷町役場)



中山中継局

令和4年度あいづ“まるごと”ネット第1回交流会を開催しました

9月21日（水）、下郷町の下郷ふれあいセンターにおいて、令和4年度あいづ“まるごと”ネット第1回交流会を開催しました。

今回は、株式会社農プロデュースリッツ 代表取締役 新谷梨恵子氏が「さつまいも愛を商品にのせて」と題して講演を行い、参加者は、新谷氏の実体験から販路開拓や商品開発における他社とのコラボの重要性や、失敗や困難を糧とする考え方などについて学びました。

参加者からは特に「他社とのコラボ」に関する感想が多く聞かれ、地域産業6次化に対する熱意の更なる向上を感じた交流会となりました。当事務所では、今後も地域産業6次化の推進に取り組んでまいります。
(企画部)



交流会の様子

「ふくしまならではの花き」産地育成支援事業に係る南会津地方 フラワーネットワーク現地検討会が行われました

8月23日（火）にJ A会津よつば田島支店および現地ほ場において、南会津地方フラワーネットワーク現地検討会を行いました。この取組は、花き農家、J A、生花店、花き利用施設等が一体となって、県内における新たな需要創出と持続的な県産花きの利用拡大を図るために実施しました。

今回の検討会では、当事務所より、県内や南会津地方の花き生産状況を紹介します。南会津町針生のペンション会津六名館の瀬田さんから、本事業による会津各地での花き利用施設での花き展示状況を映像で紹介いただきました。また、田島花き部会長の渡部亮平さんのカスミノウ栽培ほ場を見学しました。出席者からは、花きの生産・消費に関する活発な意見が交わされました。

これからも、日々の取組を通して花き生産振興と地元での消費拡大を進めてまいります。
(農業振興普及部)



現地検討会の様子

環境アドバイザーによる新規規採択希望地区の現地調査を実施しました

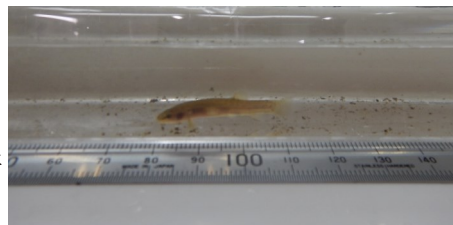
農業農村整備事業の新規採択にあたり、県では事前に事業地区内に生息している動植物の調査を行います。希少種等が確認された場合には、予め対策方法を事業実施計画に盛り込むことで、その個体維持とともに生息環境の保全・保護に務めています。

このため、その地域でそれらに精通した有識者を環境アドバイザーとして任命し、実際に現地調査を行った結果に基づき対策や保全方法について助言を求めており、今年度も下郷町と只見町で新たな事業要望地区の調査を実施しました。

南会津管内は、自然が豊かで県が指定する希少動植物も数多く生息しています。今回はかつて基盤整備が実施された、いわゆる里山であることから、特別に対策が必要と判断されるような希少生物は、ほとんど確認されませんでした。一部で希少種のホトケドジョウが確認されたため、これについては保護対応が必要となる見込みです。

今後も丁寧に調査を実施することにより、環境に配慮した公共事業を実施し、自然との共存共栄を図ってまいります。

(農村整備部)



採取のホトケドジョウ

只見線が全線運転再開しました

10月1日（土）に、福島県と新潟県魚沼を結ぶJR東日本の只見線が全線運転を再開しました。只見線は、2011年7月の「新潟・福島豪雨」で大規模に被災し、会津坂下駅一小出駅間の113.6キロが不通になりましたが、徐々に運転再開区間を伸ばし、2012年以降は会津川口駅一只見駅間の27.6キロだけが不通となっていました。

当日は、只見小学校にて11年越しの全線再開を祝した記念式典が行われたほか、記念列車「再会、只見線号」が運行され、沿線では多くの方々が列車に手を振り、全線再開を喜びました。

また、只見町にある目黒麴店では只見線再開を記念して、県内産小麦「ゆきちから」を使用した6次化商品「奥会津ラーメン」を発売しました。目黒麴店の店舗や只見町インフォメーションセンター売店等にて販売されておりますので、ぜひご賞味ください。
(企画部)



奥会津ラーメン

農林事務所からのお知らせ

令和5年度「林業アカデミーふくしま」就業前長期研修の研修生を募集中

県では、福島県内の林業事業体等に就業を希望する方を対象に、令和5年度の林業アカデミー研修生を募集しています。受講の申込み方法など、詳しい内容は森林林業部林業課0241-62-5375までお問合せください。

- 1 募集機関 林業アカデミーふくしま
- 2 研修生の募集

定員	選考区分		申請月日	合格発表
15名程度	推薦		9/1～9/30	R4.10.21
	一般	前期	11/10～11/25	R4.12.16
		後期	1/11～1/27	R5.2.14

※一般後期・・・前期試験で定員に達した場合、実施しません。
 推薦：在籍する高等学校長の推薦がある方、林業事業体代表者の推薦がある方
 一般：高等学校を卒業した方、もしくはR5.3.31までに卒業見込みの方など

- 3 研修受講料
年額 118,800円 その他、教科書代・作業服・保険料等は実費負担となります。
- 4 給付金制度
研修終了後1年以内に林業分野に就業し、その中核を担うことに強い意志を持っている方へ、研修生一人あたり年間約130万円を給付する国の制度を活用できます。
- 5 申込み方法
受講申請書等の詳細は、県ホームページ、QRコードで検索してください。
 なお、令和4年度の研修の様子は、Facebookでご覧いただけます。

(森林林業部)



「アグリカレッジ福島」令和5年度学生募集

福島県農業総合センター農業短期大学校（アグリカレッジ福島）では、実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、令和5年度の学生を募集しています。

- 1 募集機関 農業総合センター 農業短期大学校(アグリカレッジ福島)
- 2 募集人員
 水田経営学科 15名程度 花き経営学科 10名程度
 野菜経営学科 15名程度 畜産経営学科 10名程度
 果樹経営学科 10名程度
- 3 募集の概要

入校試験区分		出願期間	試験日	合格発表
推薦	経営学科ごとに募集人員の70%程度	R4.9.21～9.28	R4.10.26	R4.11.2
一般	前期	10名程度	R4.11.18～11.30	R4.12.8
	後期	5名程度	R5.1.11～1.31	R5.2.10

※推薦・・・出願期間は終了しています

- 4 お問い合わせ先
 福島県農業総合センター農業短期大学校 農業経営部 入試担当
 電話0248-42-4113 (農業振興普及部)



令和4年秋の農作業安全運動実施中！

令和4年9月1日から10月31日までを「農作業安全運動重点推進期間」として、『しめよう！シートベルト』をテーマに運動を実施しています。

秋の実りの時期を迎え、収穫・管理作業で忙しい日が続いています。余裕を持った計画を立て、農作業事故を起こさないよう十分注意しましょう。特に機械操作の際はシートベルトやヘルメットを装着し、家族や周囲の方々と声を掛け合って、安全な農作業を心掛けましょう。また、健康管理にも十分注意して作業をしてください。



○問い合わせ先

南会津農林事務所 農業振興普及部 電話 0241-62-5262
(農業振興普及部)

肥料高騰対策事業のお知らせ

肥料価格の高騰による農家経営への影響を緩和するため、化学肥料の2割低減の取組を行う農業者に対して肥料コスト上昇分の7割を支援します。

【対象となる肥料】

令和4年6月～令和5年5月に購入した肥料（本年の秋肥と来年の春肥として使用する肥料）

【申請方法】

取組実施者（JA、肥料販売店など）が、参加農業者（化学肥料の低減に取組む者）から提出された低減計画書と肥料代金の注文書等を取りまとめて、5戸以上の農業者グループで申請します。

【スケジュール（予定）】

令和4年10月下旬～ 秋肥分の申込み開始（農業者→取組実施者→県協議会）

令和5年2月～ 春肥分の申込み開始（農業者→取組実施者→県協議会）

※申請時期や提出書類など詳細については、別途お知らせする予定です。

◇肥料価格高騰対策事業の情報は随時更新されますので、ご確認ください。

・福島県環境保全農業課ホームページ「福島県環境保全農業課」で検索

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/hiryou-koutou-taisaku.html>

◇事業の概要については、パンフレットをご確認ください。

・農家向けパンフレット「肥料価格高騰対策のごあんない」で検索

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/attach/pdf/220729-20.pdf

○問い合わせ先

南会津農林事務所 農業振興普及部 電話 0241-62-5253 (農業振興普及部)

第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催します

10月15日（土）から23日（日）に第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを会津高原星の郷ホテル（南会津町界字湯の入278）で開催します。今回のキャンペーンでは県オリジナル水稻品種「里山のつぶ」や南会津の6次化商品（ジュース）などをPRします。

「里山のつぶ」は福島県が11年の歳月をかけ中山間地向けに開発した県オリジナル品種（平成29年品種登録）で、米粒が大きく、口にした時のしっかりと歯ごたえと適度な粘りが特長です。キャンペーン期間中は朝食で「里山のつぶ」と南会津の6次化商品を提供します。詳しくは、当事務所のホームページをご覧ください。



(企画部) キャンペーンチラシ

農林水産部YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」配信中

福島県農林水産部では、今年度から県産農林水産物のブランド力強化取組の一つとして職員自ら取材して、県産農林水産物のおいしさや「福島ならではの」魅力を伝える動画を作成し、YouTubeで発信する取組をスタートしました。現在約100本ほどの動画が掲載されています。

南会津管内に関する動画では「福島県南会津 猿楽台 秋そばの収穫空撮」、「南会津町伊南地域でいきもの調査してみた!」、「道の駅で南郷トマトのPR!」、「ふくしま農村学びの場(南会津編)」の4本が掲載されています。以下の二次元バーコードを読み取るとご覧いただけます。子供たちが田んぼの生き物について学ぶ様子や、道の駅で行った南郷トマトのPRイベントの様子が掲載されています。(企画部)



YouTubeのサムネイル画像



「1400のネタばらし」二次元コード

令和4年度食品表示法研修会を開催します

南会津農林事務所では、農産物の加工グループや簡易な加工を行う個人、直売所関係者、直販を行う農業者から、食品表示法に関する相談を受け付けています。

食品表示法では、全ての加工食品においての原産地及び原料の表示、生鮮しいたけの原産地を植菌地とすることに対する猶予期間が、令和4年度をもって終了しています。

食品表示法について一層理解を深め、食品表示の適正化を推進するため、食品表示法研修会を次のとおり開催します。関係者の方の御参加をお待ちしております。

日時：令和4年12月6日(火) 13:30~15:30

会場：御蔵入交流館多目的ホール(南会津町田島字宮本東22)

参加申込み方法：南会津農林事務所企画部へ電話、FAX又はメール

電話番号：0241-62-5252

FAX番号：0241-62-5256

メールアドレス：kikaku.af05@pref.fukushima.lg.jp

農林事務所HP：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

申込み締切：令和4年11月28日(月)まで

※酒類は国税局所管のため、説明対象外となりますのでご注意ください。

(企画部)

令和4年度食品表示法研修会

令和4年度は加工食品、生鮮しいたけについて新たな食品表示法が施行され、食品表示法が改正されたことなどから、より一層食品表示法に関する相談を受け付けています。皆様のご参加をお待ちしております。

研修内容

- ① 食品表示法について(食品表示・産地表示など)
- ② 南会津管内において(アレルゲン・遺伝子組み換え)
- ③ 産地表示について(産地表示・産地表示食品など)
- ④ その他、質疑応答の時間です。

※ 産地表示は産地表示法に基づいて表示されます。

TEL: 0241-62-5252 FAX: 0241-62-5256

研修会チラシ

南会津農林事務所では公式Instagramのフォロワーを募集しています!

○最近の主な投稿

「南郷トマトの出荷が始まりました」「南会津新そば祭りが開催されました」

この他にも農林産物の話題やイベント情報を発信しています。

右の二次元バーコードを読み取りぜひフォローして下さい。



MINAMIAIZU_NOURIN

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。